



こどもクリニックニュース

NO. 149 平成24年6月1日発行
ともながこどもクリニック

ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン 来年度から定期接種に

厚生労働省は、上記3種類のワクチン接種を来年度から「法に基づく定期接種としたい」と発表しました。諸外国に比べて遅れていた予防接種制度が、また一步前進したようです。なお、法律の改正が必要になりますので、今後は国会議員の皆様の努力を期待します。

院長の予定 (2012年7月まで)

6月	20日	(水)	1才半健診	保健センター
	28日	(木)	学校保健委員会	水深小
7月	23日	(月)	3才健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

7月末までは臨時の休診の予定はありません。

なお、水曜日は一日休診です。

休日の診療予定 (10月まで)

当院は下記の予定で診療いたします。これは加須市の「小児科休日診療」の一環でもあります。

- 7月16日 (月) 海の日
- 9月17日 (月) 敬老の日
- 9月22日 (土) 秋分の日
- 10月8日 (月) 体育の日

診療受付時間は午前8:30~12:00までです。
それ以外の日曜・祝日ならびに水曜日は、休診です。



感染症の情報

溶連菌感染症が多い状況が続いています。一部の学校や幼稚園などで流行しているようです。その他、水痘もやや多いです。胃腸炎(嘔吐・下痢)もまだ見かけます。
手足口病の患者さんが少し目立ち始めました。

これから夏になると手足口病やヘルパンギーナなどの「口内炎」ができる病気が増えてきます。ワクチンも特効薬もなく、また切り札となるような予防方法もありません。一番有効なのは「手洗い」です。

また保育園や幼稚園で流行することが多く、登園禁止・許可のタイミングについて、毎年悩まされます。みんなで正しい知識を身につけましょう。裏面をご覧ください。



手足口病・ヘルパンギーナの豆知識 そして登園登校の目安は???

子どもが罹りやすい感染症のいくつかについては、学校保健安全法という規則により、出席停止期間が定められています。幼稚園や保育園児の場合でも、同じ規則に従って登園禁止・許可されるのが一般的です。

インフルエンザや水痘などには前月号でお知らせしたように、明確な日数の基準がありますが、手足口病やヘルパンギーナでは「医師が感染のおそれがないと判断した時」という基準しかありません。

まず「豆知識」

手足口病

手のひら、足のうら、(時にはおしりやひざにも) 小さな発疹ができます。口の中には口内炎ができます。熱はないか、あっても微熱程度のことが多いです。手足の発疹は痛がりませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。原因は複数のウィルスで、夏に乳幼児の間で流行し、何度もかかってしまうことがあります。

ヘルパンギーナ

38～40℃の高熱が2～3日続きます。同時にのどの奥に口内炎ができて痛いので、食べられなくなります。ひどいときは水分も飲めなくなり、脱水症になることがあります。原因は複数のウィルスで、夏に乳幼児の間で流行し、何度もかかってしまうことがあります。

問題は?

この二つの病気は同じ仲間のウィルスが原因です。熱は数日で下がってしまい、口内炎は長くても1週間もあれば消失し、患者さんはすっかり元気になります。ところがその時点でもウィルスはまだ残っています。ウィルスは患者さんの胃腸の中でかなり長い期間(おおよそ2～3週間くらい)生き残っているとされており、その間は、周囲の人にうつす可能性があります。ということは、周囲の人にうつさなくなるのは、発病して1ヶ月くらい過ぎてからという事になりますね。でもお子様は元気なのに、そんなに長く保育園や幼稚園・学校を休ませるわけにはいきません。

だから、登園許可を出す医師は悩んでいます。医師の中でも意見が大きく分かれることとなります。

私の方針

私の考えは、「熱が無く、食欲が良好なら登園可」というものです。手洗い以外には有効な予防策がない以上は「お互い様」と開き直っていただきたいと考えています。

ちなみに、ウィルス性(感染性)胃腸炎についても事情はまったく同じです。



「赤ちゃんのワクチン」 相談会

日時 : 6月17日(日曜) 9:00～

場所 : 当クリニックの待合室

申込 : 受付窓口(電話でも可)

内容 : ワクチンに関する基礎的な知識の解説
接種スケジュールを決めるポイント
いろいろなご質問への答え、など。

目的 : 現在妊娠中の方や、生まれたばかりの赤ちゃんのいる方で、お子様の予防接種をどのように進めたら良いのか悩んでいるご両親へのアドバイスです。

ワクチンがたくさんあり過ぎて、順番が分からない。

同時接種はしたくない(又は、何となく怖い)。

ネットなどの情報が多すぎて、迷っている。

このような方々へ、小児科医の立場から、できるだけ分かりやすく、じっくりと説明しようという企画です。

よくある質問や、標準的なスケジュール(またはお勧めパターン)の案内は、これまで通り当院スタッフも対応いたしますので、遠慮なくお尋ねください。

今のところ参加者が少ないので、当日の飛び入り参加も大歓迎です。ただし、事前の申し込みがゼロの場合は中止しますので、せっかく来ていただいたのに無駄足になる恐れがあります。また会場が広くないので、万が一、飛び入りの方が大勢いらっしゃった場合は窮屈になります。(一応、参加者の上限はご夫婦で10組程度と想定しています)

ご希望の方は是非、事前の申し込みをお願いします。

ワクチンデビューは「生後2ヶ月の誕生日」から!

こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています!

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150